

水産物の輸出拡大と 品目団体の状況について

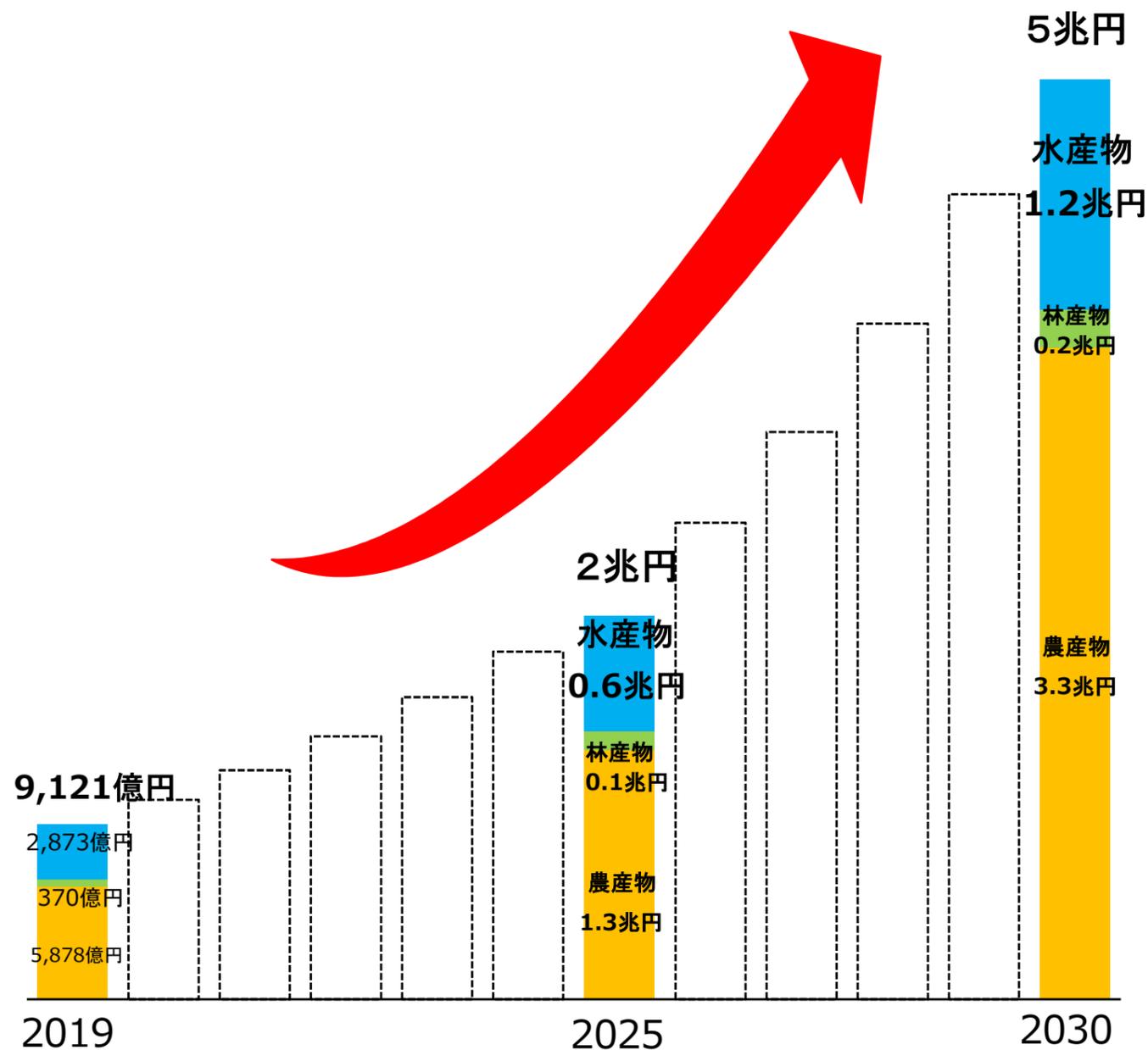
令和6年3月
水産庁

農林水産物・食品の輸出促進について

○2019年11月、「農林水産物及び食品の輸出の促進に関する法律」が成立（令和2年4月1日施行、令和4年10月1日改正）し、食料・農業・農村基本計画（令和2年3月31日閣議決定）において、**2030年までに農林水産物・食品の輸出額を5兆円とする目標**を設定。

○2020年12月、総理大臣を本部長とする「農林水産業・地域の活力創造本部」において**2025年、2030年目標の達成に向けた戦略である「農林水産物・食品の輸出拡大実行戦略」を決定**（令和5年12月改訂）。

●農林水産物・食品の輸出額目標



●輸出拡大実行戦略に基づく具体的な施策（輸出重点品目の選定）

海外で評価される日本の強みを有し、輸出拡大に向けた取組の余地の大きい**29品目**を重点品目に選定し、集中的に支援。

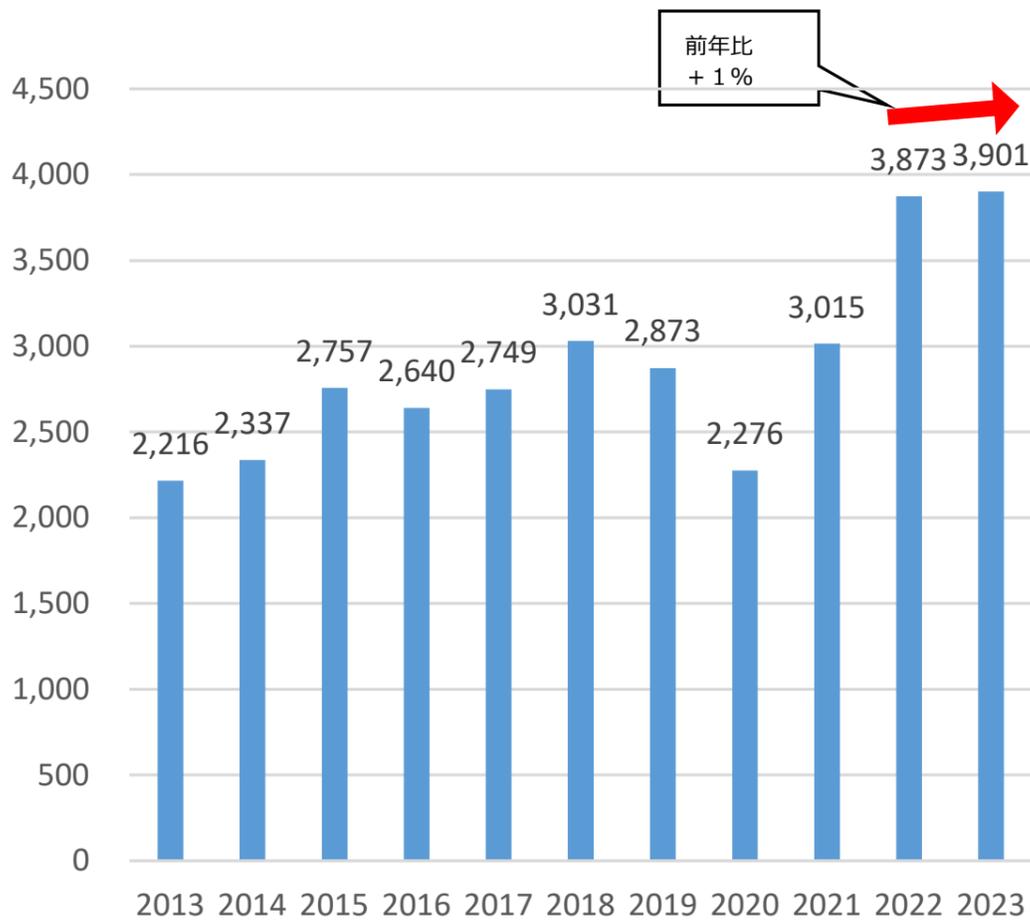
輸出重点品目	
牛肉	ぶり
豚肉、鶏肉	たい
鶏卵	ホタテ貝
牛乳・乳製品	真珠
果樹(りんご、ぶどう、もも、かんきつ、かき・かき加工品)、野菜(いちご)	錦鯉
野菜(かんしょ等)	清涼飲料水
切り花	菓子
茶	ソース混合調味料
コメ・パックご飯・米粉及び米粉製品	味噌・醤油
製材	清酒(日本酒)
合板	ウイスキー
	本格焼酎・泡盛

水産物の輸出状況

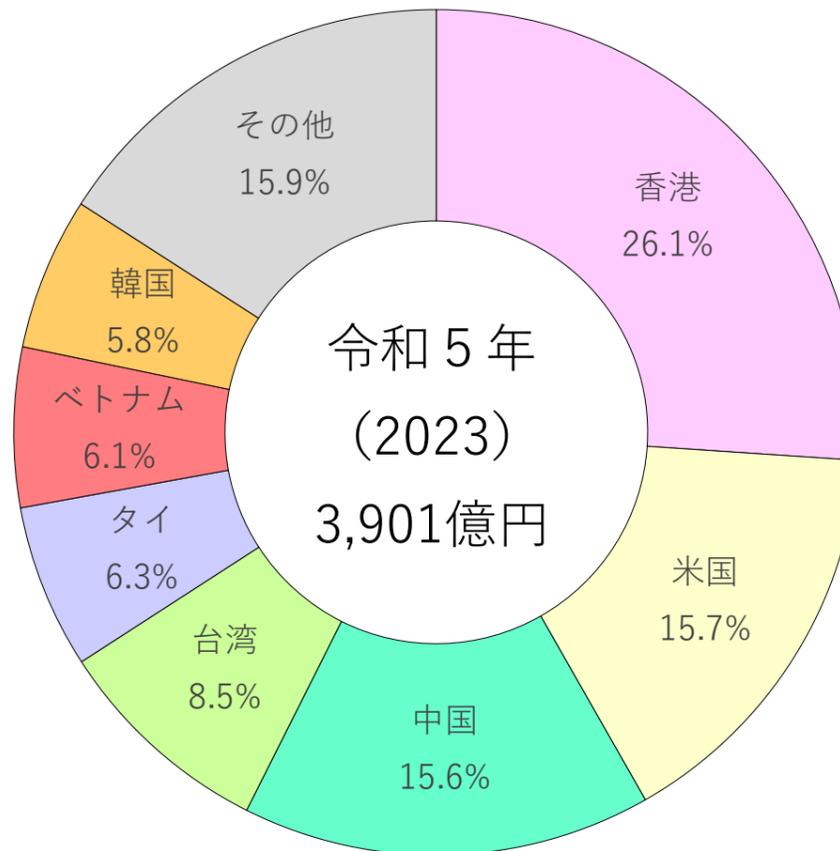
- 「食料・農業・農村基本計画」において農林水産物・食品の輸出額の達成目標は、2030年に5兆円（うち水産物1.2兆円）とされている。
- 2023年の水産物輸出実績は3,901億円。農林水産物・食品輸出額 1兆4547億円の28.7%を占める。前年比では、1%の増加。
- 国・地域別では、香港、米国、中国で約半分を占め、品目別では、ホタテ貝、真珠、ぶり等が上位を占めている。

漁業・養殖業の合計値

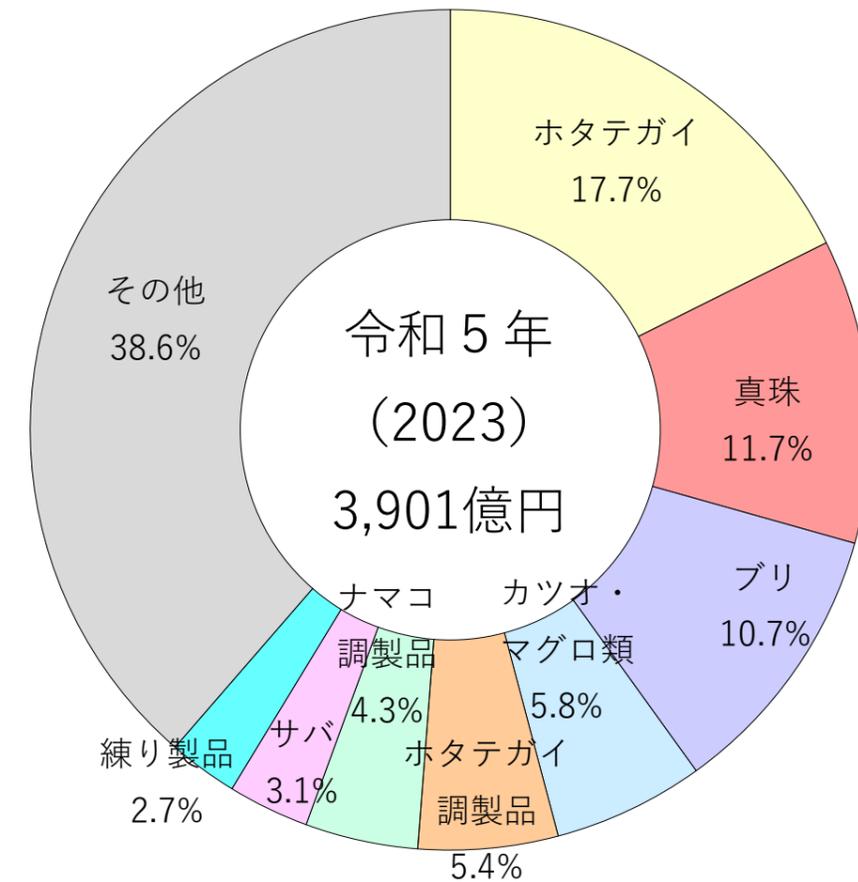
水産物輸出額の推移(億円)



国・地域別輸出実績(2023)

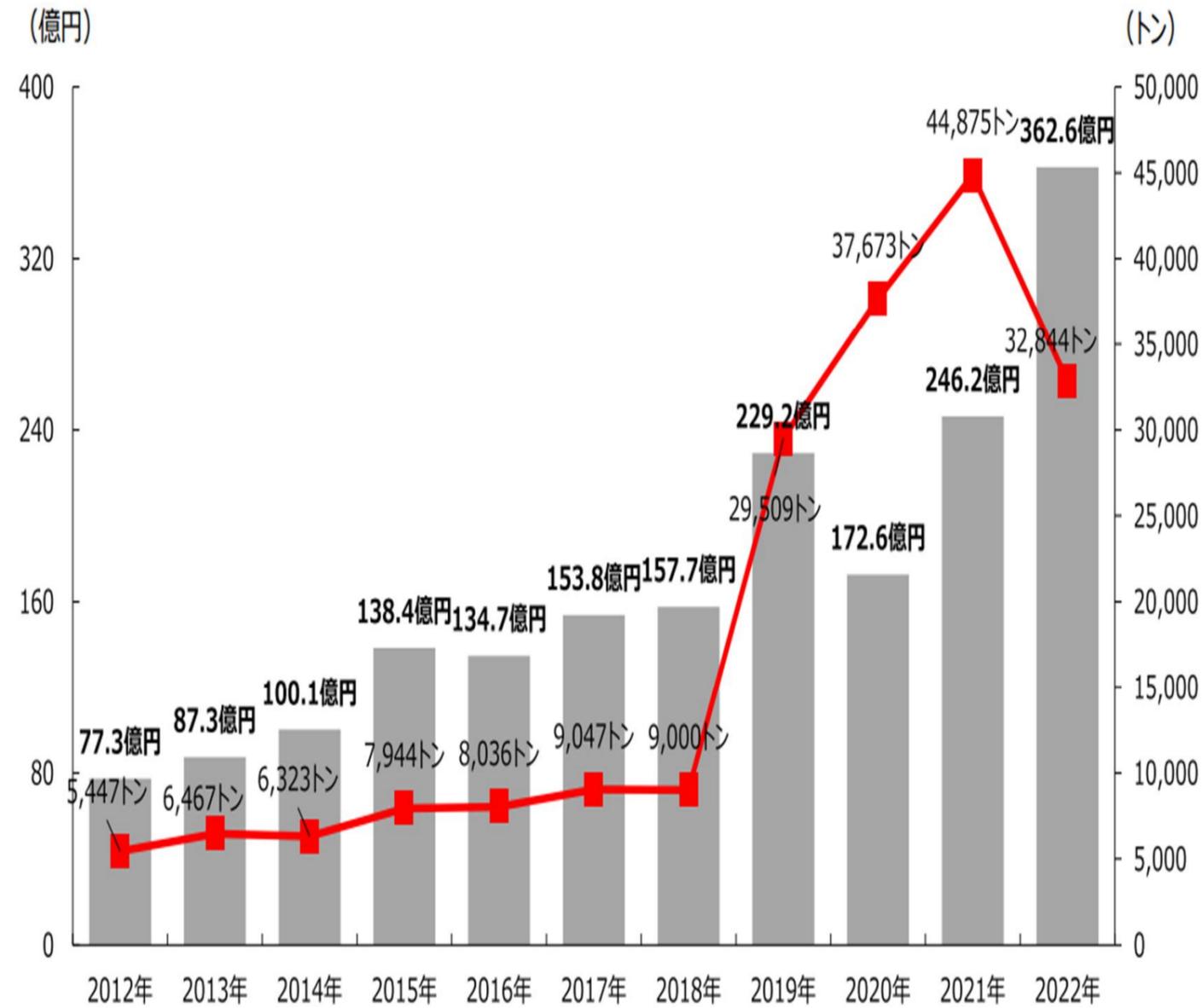


品目別輸出実績(2023)



水産物の輸出状況

ぶりの輸出実績（2012～2022年）



注：ぶりは、既存の統計品目番号（フィレ）に加え、2019年1月の分類変更に伴いフィレ以外の統計品目番号（ラウンド等）が新たに追加されたため、前年との単純比較はできない。

ぶりの国・地域別内訳 2022年

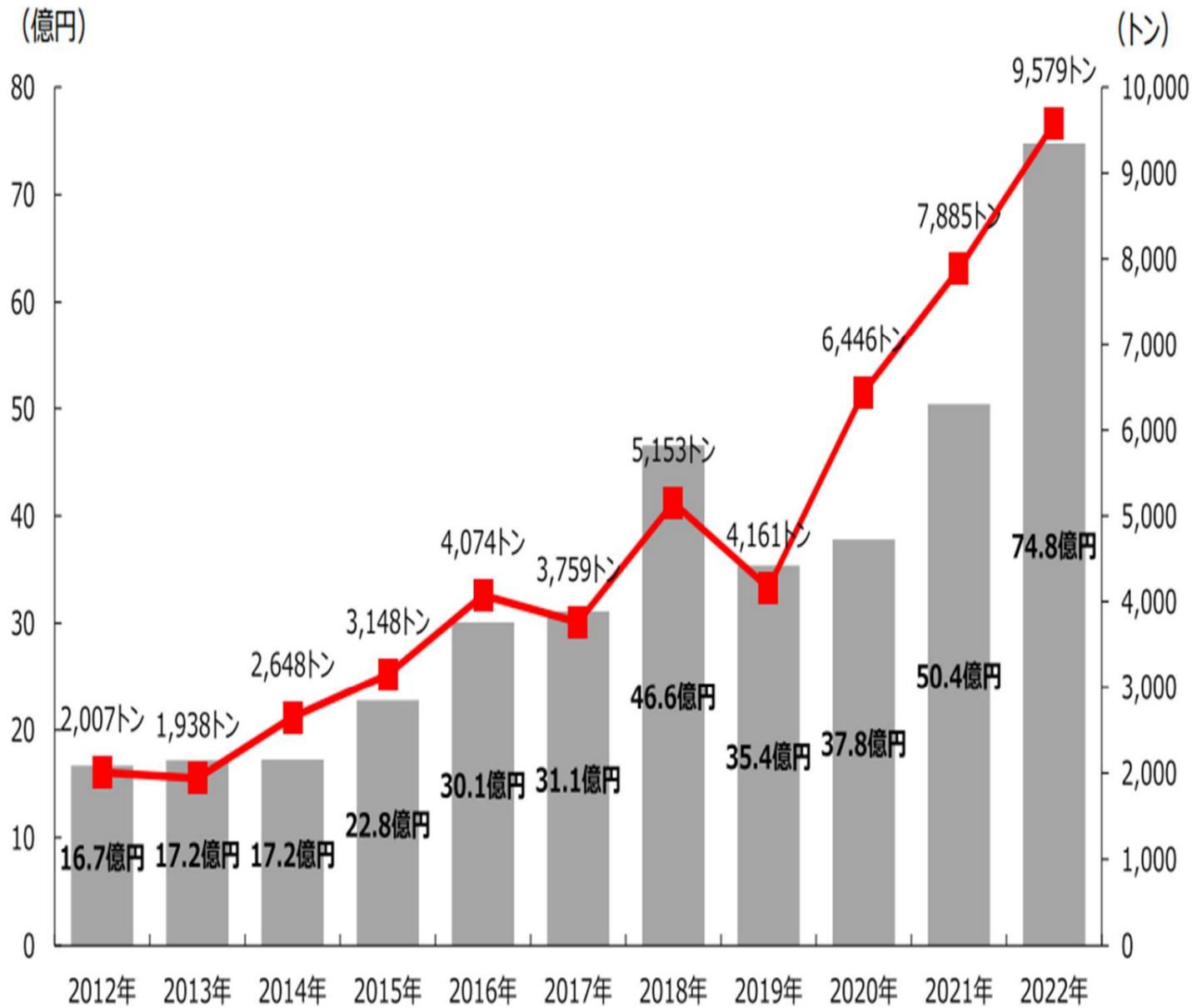
- 2022年は、輸出額362.6億円と増加（前年比+32.7%）。
- 回復した米国の外食需要に対して、冷凍ぶりフィレの輸出が増加。

	国名	輸出額 (量)	輸出額 前年比	輸出額 構成比
1	アメリカ合衆国	222.1億円 (9,777トン)	+ 40.5%	61.2%
2	大韓民国	36.5億円 (2,473トン)	+ 69.1%	10.1%
3	ベトナム	22.3億円 (10,832トン)	▲ 24.7%	6.1%
4	香港	20.6億円 (973トン)	+ 34.0%	5.7%
5	中華人民共和国	14.8億円 (3,478トン)	+ 29.0%	4.1%
-	その他	46.3億円 (5,311トン)	-	12.8%
参考	EU	6.2億円 (351トン)	+ 167.9%	1.7%
-	世界	362.6億円 (32,844トン)	+ 32.7%	100.0%

注：四捨五入の関係で内訳の計と合計が一致しないことがある。
EUの数値については外数。

水産物の輸出状況

たいの輸出実績（2012～2022年）



たいの国・地域別内訳 2022年

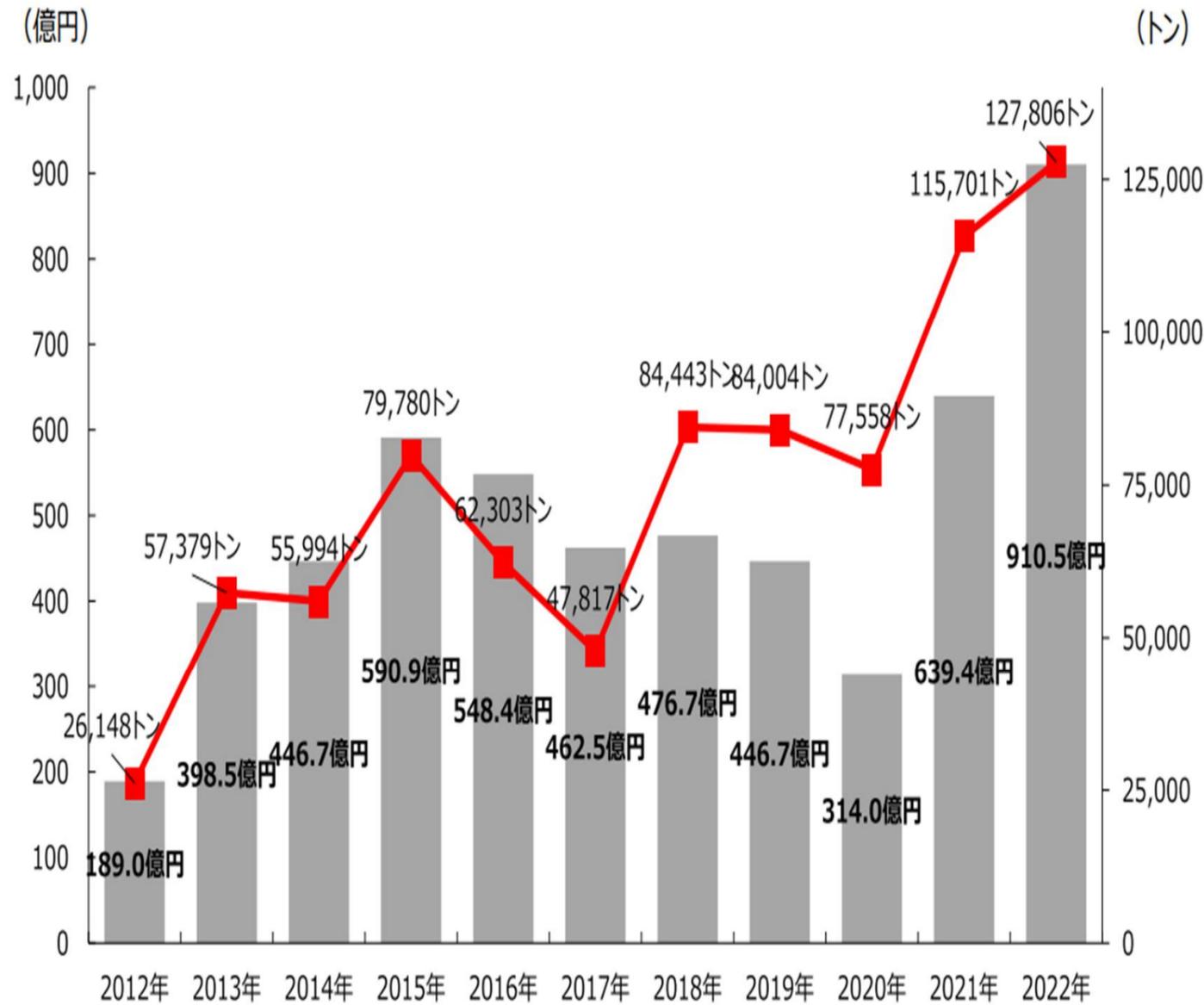
□ 2022年は、輸出額74.8億円と増加（前年比+48.3%）。
 □ 韓国（前年比+50.2%）、米国（同+74.6%）向けの伸びが大きい。

	国名	輸出額 (量)	輸出額 前年比	輸出額 構成比
1	大韓民国	49.5億円 (5,535トン)	+ 50.2%	66.3%
2	アメリカ合衆国	6.3億円 (381トン)	+ 74.6%	8.4%
3	中華人民共和国	4.6億円 (1,157トン)	+ 63.4%	6.2%
4	台湾	4.5億円 (445トン)	+ 18.8%	6.1%
5	タイ	4.0億円 (1,071トン)	+ 27.2%	5.4%
-	その他	5.7億円 (990トン)	-	7.7%
-	世界	74.8億円 (9,579トン)	+ 48.3%	100.0%

注：四捨五入の関係で内訳の計と合計が一致しないことがある。
 EUの数値については外数。

水産物の輸出状況

ホタテ貝（生鮮・冷蔵・冷凍等）の輸出実績（2012～2022年）



ホタテ貝（生鮮・冷蔵・冷凍等）の国・地域別内訳 2022年

□2022年は、輸出額910.5億円と増加（前年比+42.4%）。
 □米国の生産減少により、米国及び中国向けが増加したことに加え、国内主産地である北海道の生産も順調。

	国名	輸出額 (量)	輸出額 前年比	輸出額 構成比
1	中華人民共和国	467.2億円 (102,799トン)	+ 38.8%	51.3%
2	台湾	111.7億円 (3,005トン)	+ 28.6%	12.3%
3	アメリカ合衆国	78.2億円 (1,948トン)	+ 30.0%	8.6%
4	大韓民国	75.4億円 (12,722トン)	+ 62.9%	8.3%
5	オランダ	53.0億円 (1,422トン)	+ 73.2%	5.8%
-	その他	125.1億円 (5,910トン)	-	13.7%
参考	EU	73.0億円 (1,973トン)	+ 94.1%	8.0%
-	世界	910.5億円 (127,806トン)	+ 42.4%	100.0%

注：四捨五入の関係で内訳の計と合計が一致しないことがある。
 EUの数値については外数。

財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成

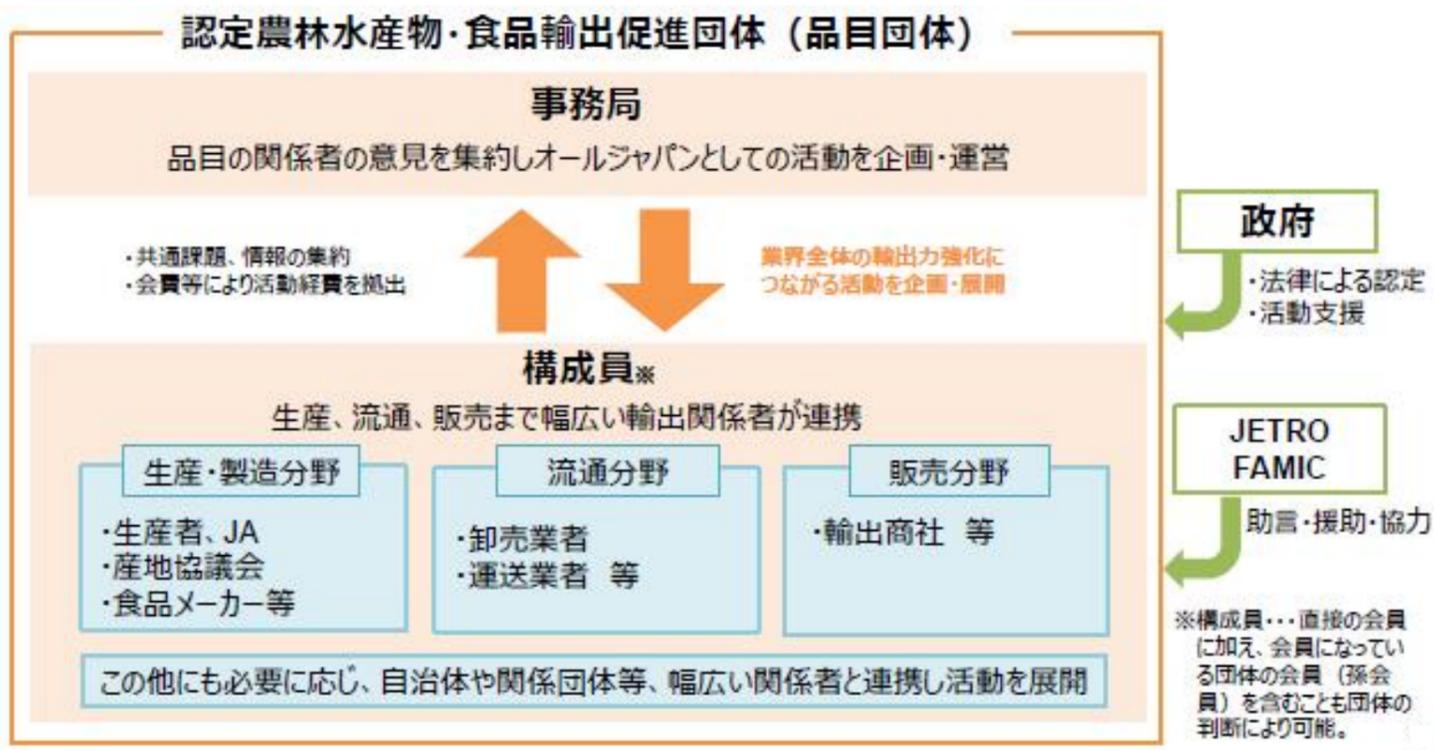
品目団体による取組

- 輸出重点品目について、農林水産物・食品輸出促進団体（いわゆる品目団体）が設立。
- 水産物関係では、5品目（ぶり、たい、ホタテ貝、真珠、錦鯉）について品目団体が設立。
- 各品目団体が「品目団体輸出力強化支援事業」を活用し、海外における販路開拓活動や、業界共通の課題解決に向けた取組、海外におけるジャパンブランドの確立に向けた取組等を実施中。

●水産物関係の品目団体

- | | | | |
|---|--|--|--|
| <p>①ぶり・たい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・名称：日本養殖魚類輸出推進協会 ・設立日：令和4年3月30日 ・認定日：令和5年11月14日 | <p>②ホタテ貝</p> <ul style="list-style-type: none"> ・名称：日本ほたて貝輸出振興協会 ・設立日：令和3年12月3日 ・認定日：令和5年11月14日 | <p>③真珠</p> <ul style="list-style-type: none"> ・名称：（一社）日本真珠振興会 ・設立日：昭和31年9月28日 ・認定日：令和4年10月31日 | <p>④錦鯉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・名称：（一社）全日本錦鯉振興会 ・設立日：昭和45年1月16日 ・認定日：令和5年3月31日 |
|---|--|--|--|

●品目団体を通じた輸出拡大の取組への支援



品目団体輸出力強化支援事業

品目団体が輸出重点品目についてオールジャパンで行う海外販路開拓・市場調査等の輸出力強化に向けた取組を支援。

<支援メニュー>

- ① 輸出ターゲット国の市場調査・規制調査
- ② 海外におけるジャパンブランドの確立
- ③ 業界関係者共通の輸出に関する課題解決に向けた実証等
- ④ 海外における販路開拓活動
- ⑤ 輸出促進のための規格の策定・普及
- ⑥ 国内事業者の水平連携に向けた体制整備
- ⑦ 輸出手続きや商談等の専門家による支援
- ⑧ 新規輸出国開拓に向けた調査及び輸送試験
- ⑨ 任意のチェックオフ制度導入に向けた体制整備
- ⑩ JETROやJFOODOとの連携強化推進